

☆東邦大学 理学部 生命圏環境科学科 応用化学分野 専任教員公募☆	
募集人員	講師 または 准教授 または 教授 (いずれか 1 名)
任期	任期なし
専門分野	<p>応用化学(化学を基盤とし、カーボンニュートラル社会や資源循環型社会の実現に貢献する地球温暖化抑制技術、新エネルギー技術、省資源化技術などの開発と社会実装を目指す研究を推進できる方)</p> <p>技術例:CO₂ の分離回収や資源化技術、バイオマス資源の活用技術、生分解性プラスチック技術、次世代太陽電池技術、廃プラスチックのケミカルリサイクル技術、希少資源の高度回収技術、希少金属を使わない固体触媒技術 等。各技術は一例であり、これらに限定するものではなく、広く募集いたします。</p>
担当授業科目	<p>学部：</p> <p>一般化学Ⅱ、物質科学、環境化学Ⅰ、環境化学ユニット科目(分担)、化学実験・化学実験Ⅱ(分担)、自然環境科学概論(分担)、環境科学海外研修(分担)、卒業研究Ⅰ・Ⅱほか</p> <p>大学院：</p> <p>環境化学特論Ⅰ(分担)、環境科学特別研究Ⅰ～Ⅹ、環境科学演習Ⅰ～Ⅹ</p>
応募資格	<p>(1) 博士の学位を有する方</p> <p>(2) 上記の分野について十分な研究経験・実績を持つ方</p> <p>(3) 環境化学部門に所属し、独立した研究室を主宰して学生の教育・研究指導ができる方。また同時に、同部門の教員ならびに生命圏環境科学科の教員と協力しながら講義や実習を担当できる方</p> <p>* 応用化学の技術開発や社会実装を意識した、工学的な視点での教育・研究を推進できる方の応募を歓迎いたします。</p>
応募書類	<p>(1) 履歴書(写真付)</p> <p>※JREC-IN Portal に添付の指定様式をダウンロードし、ご使用ください。</p> <p>(2) 業績リスト等</p> <p>次のように分類し、年度が新しいものから番号をつけて記載してください</p> <p>(a) 査読あり原著論文, (b) 総説, (c) 著書, (d) 国際学会発表(招待講演には番号に○を付ける), (e) 国内学会発表(招待講演には番号に○を付ける), (f) 受賞, (g) 科研費等公的資金獲得状況, (h) 民間財団資金獲得状況, (i) その他</p> <p>(3) 主要論文 5 編</p> <p>(4) (3) で提出する論文の研究概要と担った役割</p> <p>(1 編につき 200 字程度、被引用回数も示す)</p> <p>(5) これまでの教育経験および今後の教育に関する抱負(1000 字程度)</p> <p>特に、教育・研究を通じた学生の育成(広義のキャリア形成を含む)に関する具体的なビジョンや支援策を記してください。</p> <p>(6) これまでの研究と今後の計画・抱負(2000 字程度)</p> <p>(7) 応募者について所見を伺える研究者 2 名の氏名・所属と連絡先(メールアドレスを含む)</p> <p>(8) 研究・教育に関する Web サイトや動画等があればその URL</p> <p>(9) 応募内容の概要(Google Form より提出すること)</p>
着任時期	2026 年 4 月 1 日

応募締切	2025年8月18日(必着)
選考方法	書類審査を経て面接審査を行います。面接審査の実施時期は、令和7年10月～11月頃を予定しております。面接審査の候補者には、案内をメール等にてお知らせ致します。
合否連絡	書面またはメールにてご連絡致します。
書類送付先	<p>上記(1)から(8)の各提出書類を PDF 形式にし、全体を 1 つの ZIP 形式にまとめたファイルを JREC-IN Portal の「Web 応募」から提出してください。また、(9)応募内容の概要を GoogleForm (https://forms.gle/zpPoztyjyiqJLidS8) よりご提出ください。</p> <p>※ 郵送での提出をご希望の方は問合せ先にご相談ください。</p> <p>JREC-IN Portal 求人公募情報 https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?id=D125050488 東邦大学 理学部 教員公募情報 https://www.toho-u.ac.jp/sci/saiyo/saiyo_seimeiken_20250502.html</p>
問合せ先	東邦大学 理学部 生命圏環境科学科 齋藤 敦子 電話: 047-472-5298 E-mail: rec-2026env@ml.toho-u.jp